

2010年9月8日

各位

株式会社ツヴァイ  
代表取締役社長 田路 正  
(コード番号 2417 東証二部)  
経営管理本部長 後藤 喜一  
(電話 03-3519-7401)  
当社の親会社 イオン株式会社  
取締役兼代表執行役社長 岡田 元也  
(コード番号 8267 東証一部)

### 業績予想の修正について

2011年2月期の第2四半期累計期間の業績予想につきまして、最近の業績動向を踏まえ2010年6月29日付当社にて発表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2011年2月期第2四半期（累計）業績予想数値の修正（2010年2月21日～2010年8月20日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,160	223	241	131	33円59銭
今回修正予想 (B)	1,933	192	212	131	33円59銭
増減額 (B-A)	△227	△31	△29	—	
増減率 (%)	△10.5	△13.9	△12.0	—	
(ご参考) 前年同期実績	2,132	211	230	129	33円08銭

#### 2. 修正の理由

当第2四半期累計期間につきましては、雇用環境及び個人所得の大きな改善は見られず、個人消費の低迷や将来への不安から厳しい経営環境が続きました。

そのような経営環境の中、新規入会者については、第1四半期より苦戦をいたしました。第2四半期には、当社への安定的な入会チャネルである法人契約企業への営業活動を強化するなど対策を実施したものの、当第2四半期累計期間におきましては、売上高が前回発表予想より2億27百万円少ない19億33百万円となりました。

利益につきましては、昨年来より実施しておりますコスト構造改革に引き続き取り組み、売上原価及び販管費の効率化を推進いたしました。売上高の減少をカバーするには至らず、営業利益、経常利益とも、前回予想を下回る見込みとなりました。当期純利益につきましては、計画しておりましたIT投資のスケジュールを早めたことによる情報基盤強化税制の適用などにより、税金費用を軽減させ当初予想を達成する見込みであります。

今後については、人口構成の変化や社会環境の変化に迅速に対応すべく取り組みを進めてまいります。具体的には、媒体戦略の再構築を図り、認知度向上に努めるとともに、インターネットとのプロモーション運動などの最適化を実施し、新規入会者の増加に努めてまいります。

また、当第2四半期累計期間に九州エリアを重点エリアとした各種取り組みを実施し、成果を上げております。この取り組みの水平展開についてもスピードを上げて実施をしております。

更に、中長期を見据え、人口動態の変化に対応すべく新たな顧客の開拓に向けた「新サービス」の開発や新しい概念の紹介システムの構築を進めてまいります。

通期の業績予想につきましては、2010年6月29日の第1四半期決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はありません。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上